

# 子どもの男女共同参画に関する 意識調査報告書 概要版

「学校・家庭における経験や意識に関するアンケート調査」より

平成20年3月 豊田市

## 調査の概要

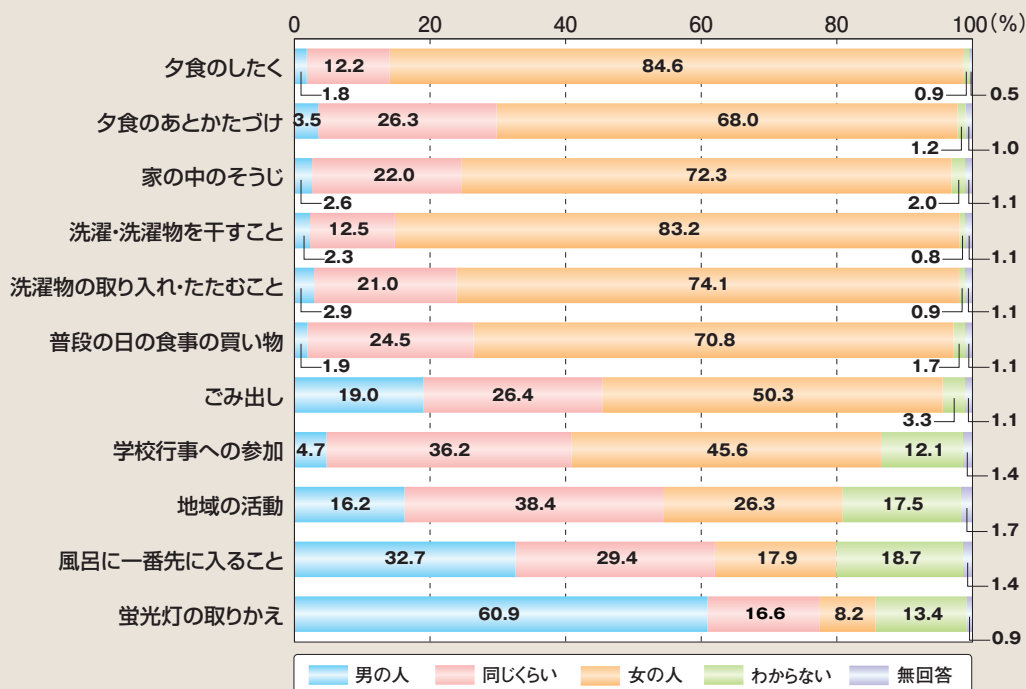
- ◎この調査は、平成19年9月に市内の小学校11校(5年生988人)、中学校9校(2年生950人)、高等学校5校(2年生995人)の児童・生徒のみなさんに学校や家庭における経験や意識について回答していただいた結果をとりまとめています。
- ◎家庭における家事の役割分担、学校での役割に対する男向きの仕事・女向きの仕事に対する考え方、『男らしく・女らしく』と言われた経験や将来どのような人になりたいと思うか、などを聞いています。
- ◎皆さんなら、どのように答えるでしょうか。また、回答の結果をみて、どのようなことが問題なのか、ご家族の皆さんも一緒に考えてください。



## はじめに、 家庭の仕事を男性と女性がどのように分担しているのかみてみましょう。

夕食のしたく、家の中のそうじ、洗濯、普段の買い物など、家事はほとんど女性が担っていることがわかります。では、男性は、家の中の仕事で何を担っているかみてください。『蛍光灯の取り替え』だけは、60%以上が男性の役割となっていますが、男性と女性が同じくらい分担している仕事の少ないことに驚きます。これは、女性が外で仕事をしている世帯においても同様の傾向がみられました。

■家庭における男女の役割分担(小中高高校生合計)



昔は、『家事は女の仕事』と決めつけられているところがありました。そのために、今でも家の中の仕事の多くを女性が分担し、それは、女性が外に仕事をもっているかに係らず、女性の役割となっているようです。

ポイント!

女性に家事が集中していることについて、見直してみませんか

## 子どもたちが 家庭でどのような手伝いをしているのかみてみましょう。

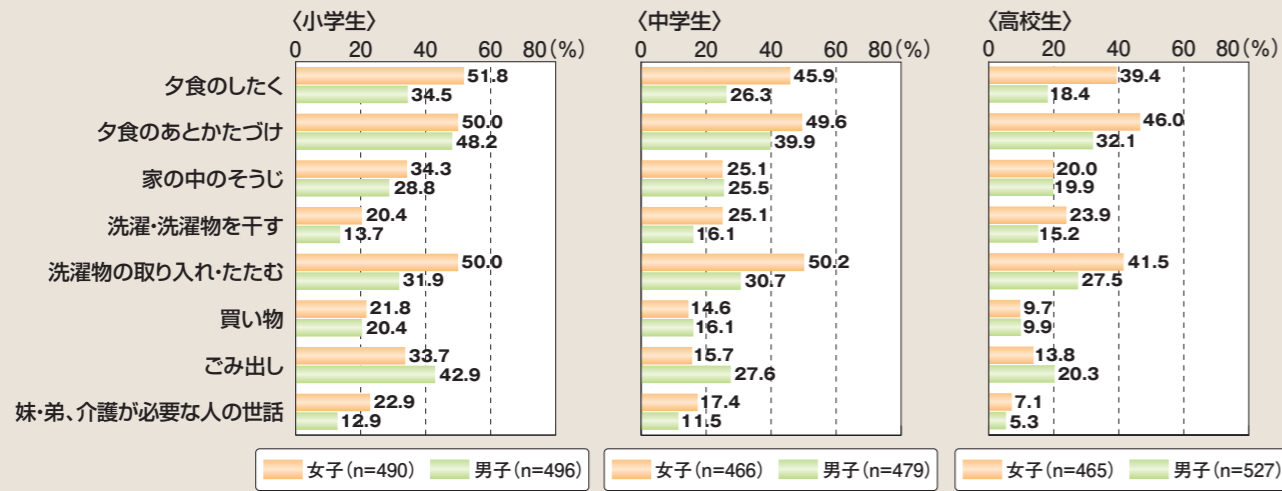


まず、小学生の女子は、『夕食のしたく』や『あとかたづけ』『洗濯物の取り入れ』などの手伝いをよくしています。女子に比べるとわずかに低い割合ですが、男子も、『ごみ出し』のように女子より高い割合のものもみられます。

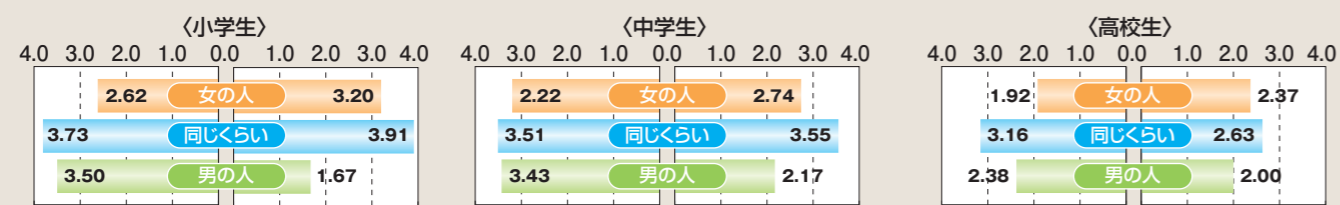
中学生になるとどうでしょうか。女子は小学生と同じくらいにお手伝いをしていますが、男子は女子に比べて手伝いの割合が低くなっているようです。しかも、小学生より中学生の男子の方が全体的に手伝いの割合が低くなっています。

高校生をみてみましょう。小学生や中学生と比べて全体的に低くなりますが、それでも女子は、『夕食のあとかたづけ』や『洗濯物の取り入れ』は40%を超えています。それに対して男子はどうでしょうか。小学生や中学生だけでなく、同年代の女子に比べても低くなっています。家の手伝いをする・しないは、家庭における男女の協力が影響しているようです。「夕食のしたく」をだれが主に分担しているかと子どもの手伝いの数をみてください。男の人も女の人も「同じくらい」夕食のしたくをする家庭の子どもは、「女の人」や「男の人」のどちらか一方が多く分担している家庭の子どもより、家でのお手伝いの数が多く、家事への抵抗感があまりないことがうかがえます。

### ■家庭における男女の役割分担



### ■「夕食のしたく」の男女の役割分担と子どもの手伝いの数



※家庭において「夕食のしたく」の役割をだれが担っているか別に、子どもたちの手伝いの数の平均を求めたもの

なぜ、女子は男子よりも家の手伝いをよくしているのでしょうか。

従来から『女性は、家事をするのがあたりまえ』と考えられてきました。そのため、今でも、暗黙のうちに家事のほとんどが女性の役割になっているのです。

もちろん、夫が外で働き、妻は家事をするという分担もありますから、女性が家事をすることが悪いというわけではありません。ただし、子どもの手伝いは、夫婦の役割分担とは意味が違います。

子どもは男の子も女の子も平等で、将来に向けて同じ可能性をもっています。男の子だからといって家事をしなくてもよいということにはなりませんし、女の子だからといって、家事をしなければならないと決まっている訳ではありません。

重要なのは、女の子だから家事を手伝うべき、という偏った考え方ではなく、家族として協力するという態度や姿勢を身に付けることです。

ポイント! 家族みんなで協力できるよう役割分担を考えてみましょう

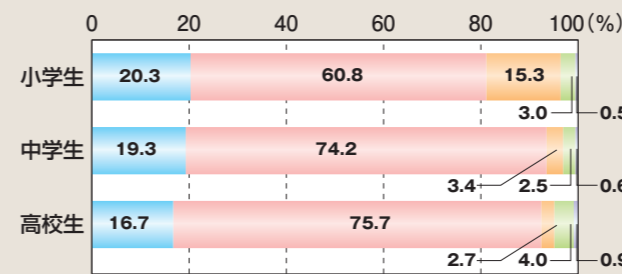
## 男女平等が最も浸透している 学校の委員会などの役割分担についてみてみましょう。



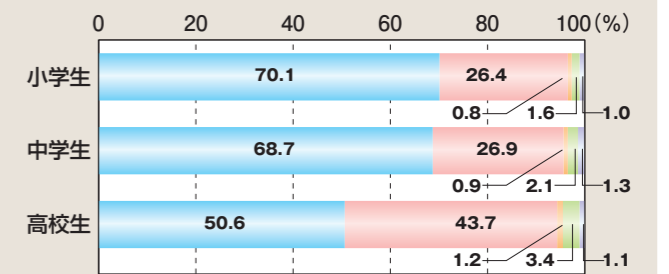
数年前まで、生徒会の委員長は男子、副委員長は女子という区分が普通でした。しかし、今はそのような役割区分はみられなくなってきています。アンケートでも委員長や副委員長、学習グループのリーダーや班長について、男女のどちらでもよいという回答が大半を占めるようになってきました。

その一方で、「重い物を運ぶこと」や「運動会の応援団長」はどうでしょうか。これらについては、どちらかという男子に向いていると考えられています。逆に、「下級生や新入生のめんどうをみること」は女子の方が向いているとみられる傾向があります。

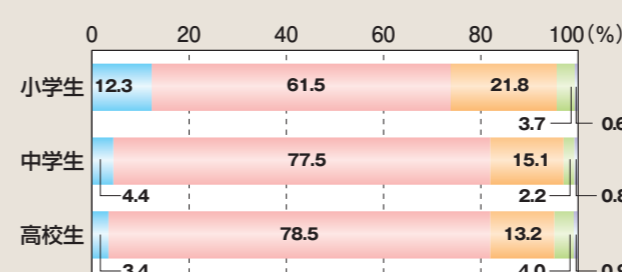
### ■委員会の委員長



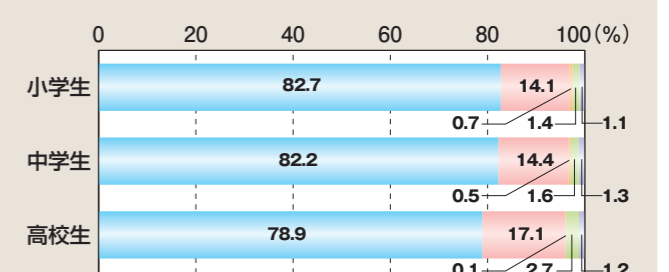
### ■運動会の応援団長



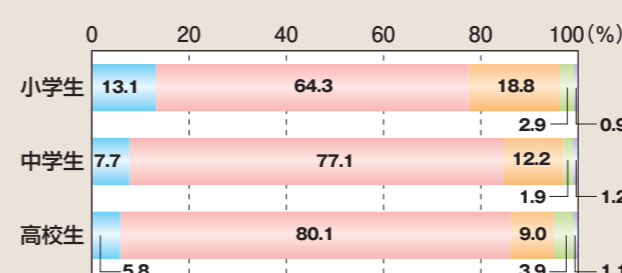
### ■委員会の副委員長



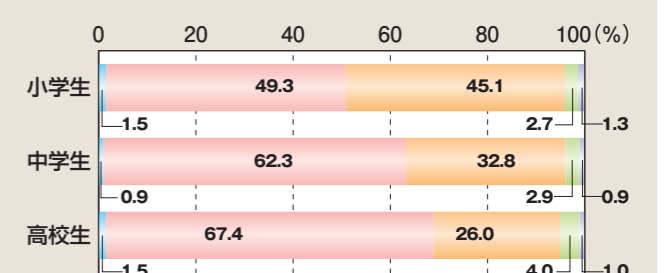
### ■重い物を運ぶこと



### ■学習のグループリーダーや班長



### ■下級生や新入生のめんどうをみること



男子に向いている どちらでもよい 女子に向いている わからない 無回答

重い物を持つことは男子向き、応援団長は男子向きと考えるのはなぜでしょうか。

男子は、『力があって、声大きい』と決めつけられているため、力を出す仕事や声を張り上げる仕事は男子向きと区別されるでしょう。しかし、男子だからといって力が強く、声大きい人ばかりではありません。では、女子についてはどうでしょうか。『女性=小さい子やお年寄りのめんどうをみる』という従来からの女性への役割意識があって、下級生のめんどうは女子向きの仕事と思われているのではないのでしょうか。

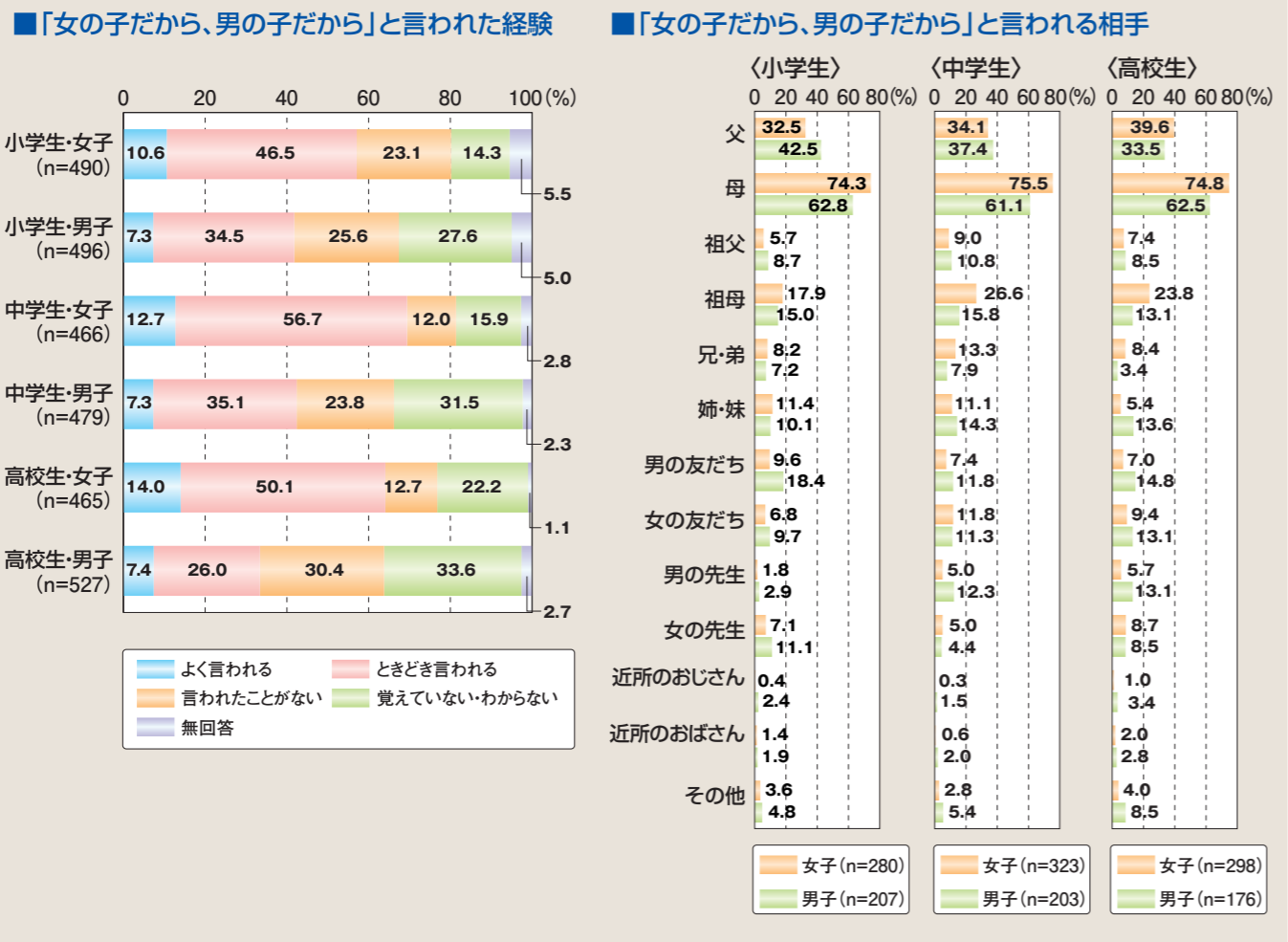
一人ひとり人格も個性もみな違ってきます。

ポイント! 男子・女子という区分ではなく、人格や個性を尊重した役割分担を考えてみましょう

# 「女の子だから～しなさい」「男のくせに～」

と言われた経験と相手についてみてみましょう。

小学生、中学生、高校生ともに、男子に比べて、女子は『女の子だから～』といわれる割合が高くなっています。しかも、女子の場合、小学生の時より中学生になってからの方が『女の子だから～しなさい』と言われる割合が高くなっています。そして、小学生も中学生も高校生も、男子も女子も、最も多く言われる相手は、お母さんです。その一つの理由は、通常母親の方が父親などと比較して、子どもと接する時間が長いから、『女の子だから、男の子だから』という頻度が高くなりがちであることは考えられますが、それだけでしょうか。女性(母親)の方が『女の子・男の子』という区分意識を強くもっているとも考えられます。また、父親についてみると、女子は、小学生より中学生、高校生となるほど高い割合となっています。父親にとって、年長の女子ほど、『女の子だから～しなさい』という意識を強くもつようになるのでしょうか。



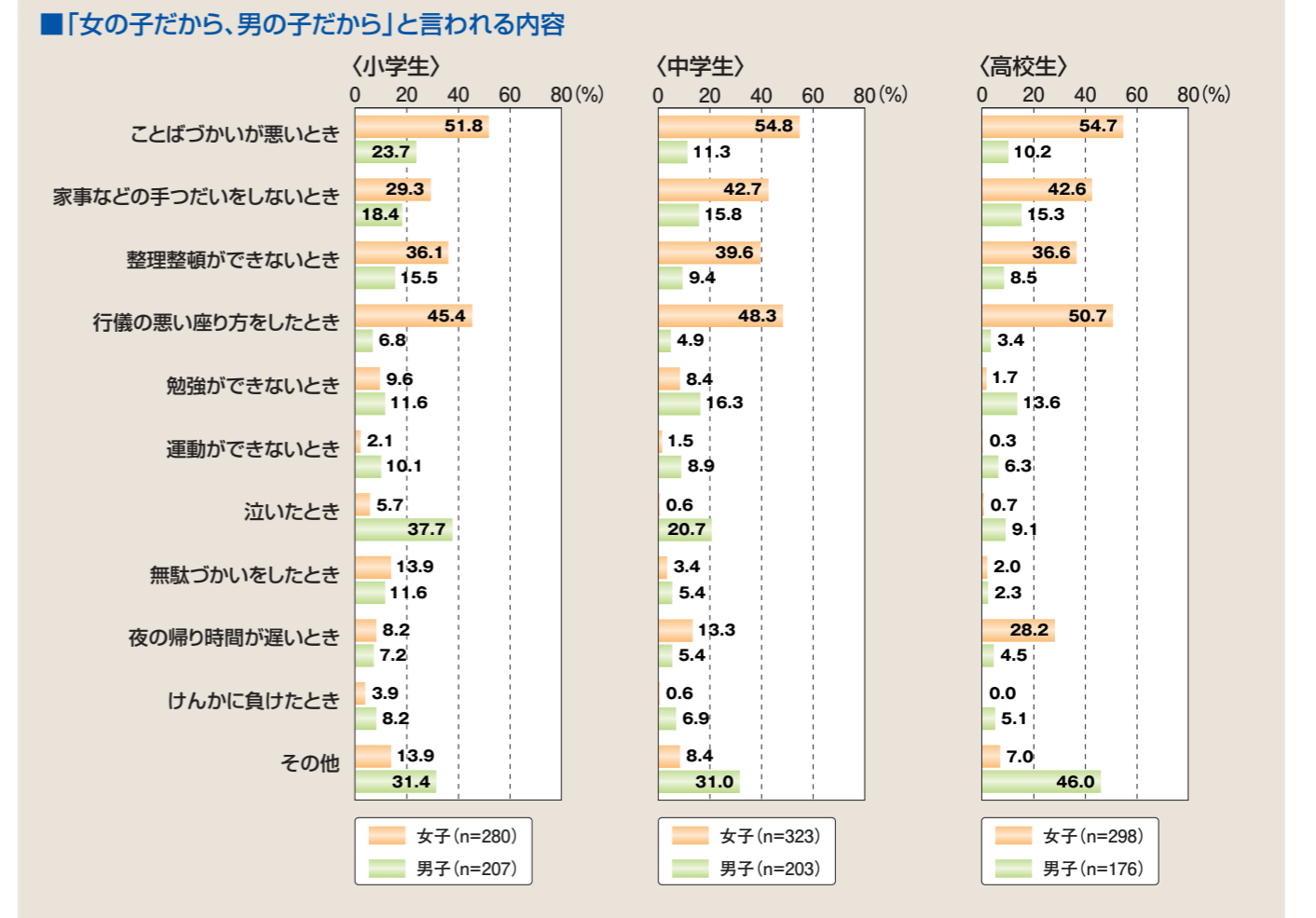
なぜ、女子は、『女の子だから』と男子より強く言われるのでしょうか。女子は生活する上で、『女の子だからしなさいいけないこと』や『女の子だからしてはいけないこと』が男子よりも多くあるのでしょうか。このように、不用意に『女の子だから、男の子だから』と周囲が言うことは、生き方や選択の幅を狭めたり、行動や意志決定の自由を奪うことにもつながってしまいます。人として身に付けるべき規範は、女・男という性別に関係ないものです。逆に、女・男に関わりなく、個性を発揮して、それを伸ばせるよう支えることが父親・母親や大人の責任です。

**ポイント!** 性別で行動を制約するよりも大人への道筋をつけてあげましょう

# どんな時に、「女の子だから、男の子だから」

と言われているのかみてみましょう。

『ことばづかいが悪い』『家事などの手伝いをしない』『行儀が悪い』『整理整頓ができない』が女子の小学生、中学生、高校生で非常に高い割合となっています。では、女子の方が、男子に比べて、ことばが乱暴で、手伝いをせず、整理整頓もしないし、行儀も悪いのでしょうか。少なくとも家の手伝いについては、男子に比べて女子の方がよくやっていることはアンケート調査で明らかになっています。逆に男子はどうでしょうか。小学生の男子では『泣いたとき』、中学生や高校生の男子では『勉強ができないとき』に『男のくせに～』と言われることがあるようです。



『ことばづかい』『家事などの手伝い』『行儀』『整理整頓』は、なぜ女子の方が割合が高いのでしょうか。その根底には、女性は、やさしいことばづかいで、家事をこなすもの、という固定的な女性の捉え方があるのではないのでしょうか。逆に、男の子が、『泣くこと』『勉強ができないこと』について、『男のくせに』と言われる背景には、男は泣かないもの、勉強ができて、リーダーシップをとるものという固定的な考え方があることがうかがえます。ことばづかいや行儀、手伝いなど、男女の性別とは関係なく、身に付けるべきたしなみであり、規範です。泣くことは人間らしい感情の表れでもあり、人はみんな勉強をして成長していきます。

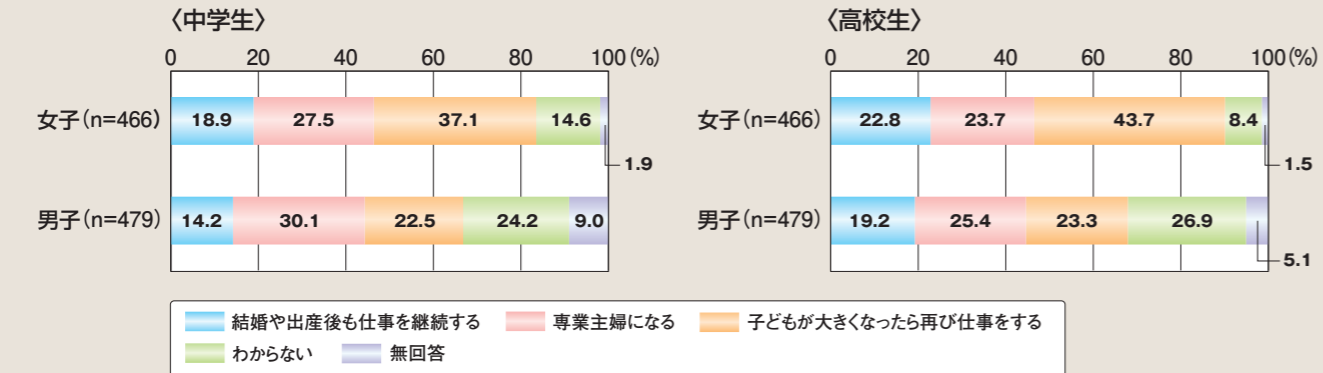
**ポイント!** 子ども一人ひとりの成長のためのことばをかけましょう

# 女性が結婚や出産を経て、仕事をどのように継続していくのかという女性のライフコースについての考え方などをみてみましょう。

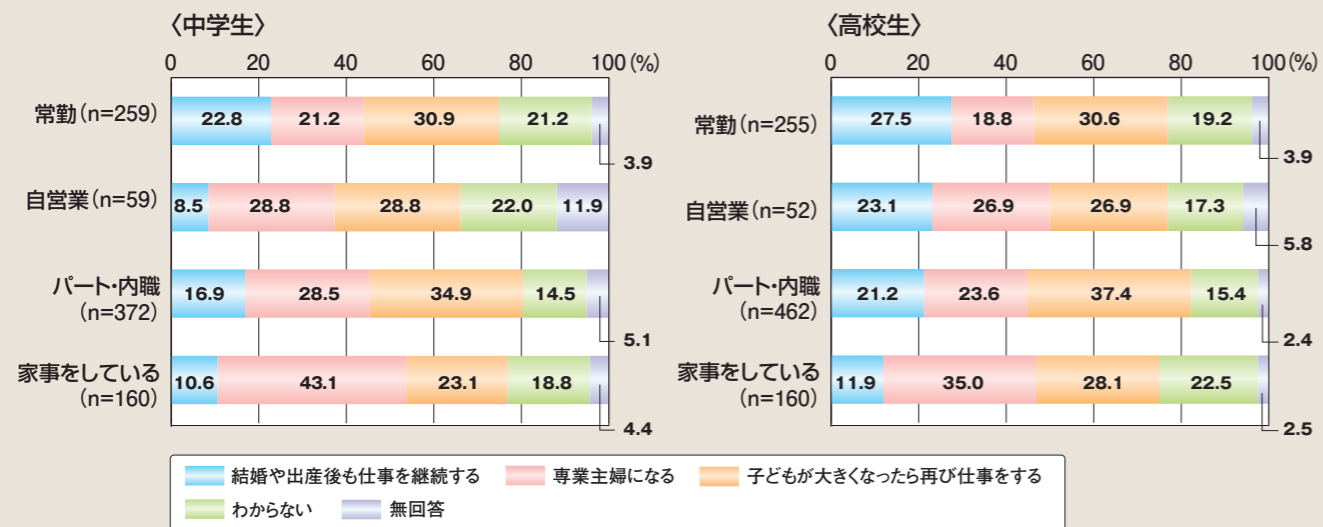
女子は、中学生も高校生も『再就職型』（子どもが大きくなったら再び仕事）が最も支持され、次いで『専業主婦』となっています。このライフコースに対する考え方を、母親の就労状況との関係からみると、母親が専業主婦の場合、専業主婦の志向割合が高く、母親が常勤で働いている子どもは、他と比べて仕事を継続する志向がみられます。

こうした女性のライフコースに対する志向は身近な大人である母親の影響を強く受けていると思われます。

## ■女性のライフコースに対する考え方



## ■母親の就労状況別ライフコースの考え方



子どもが自分のライフコースをどのように選択するのかは、子どもの自由であるべきです。しかし、家事の手伝いの状況や『女の子だから』といわれる割合などをみると、女子には、従来からある『女は家庭』という固定的な女性役割への期待が感じられます。

さらに、子どもが描く将来のライフコースが、母親の就労状況に影響をうけている様子を見ると、手本となる大人が、『男は仕事・女は家庭』という考え方を無意識に伝えているとも考えられます。

家庭などでの大人の無意識な言動や振る舞いは、子どものライフコースに影響を与えます。

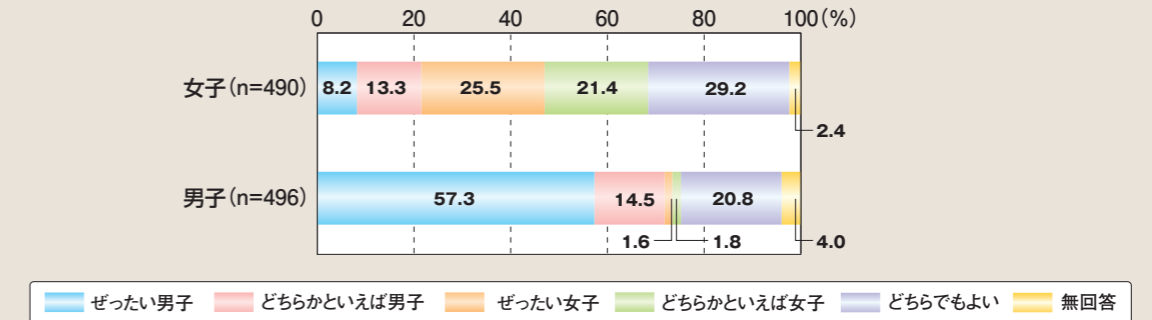


ポイント!

子どもが自分の望ましいライフコースを広い視野で自由に選択できるようにしましょう

女子にとって、不利と感じさせる社会であっては、個性を生かすことはできません。性別に関わりなく個性を發揮し、活躍できる社会をつくることは大人の使命です。

## ■生まれ変わるとしたらどちらがよいか(小学生)



女子の方が、4年制大学への進学希望が低いのはなぜでしょうか。

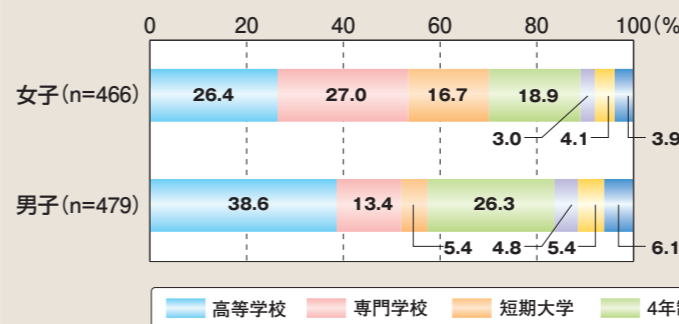
これまで、男子は4年制、女子は専門学校や短期大学という選択がなされてきました。

その背景には、女性が仕事につくことは、結婚の前の腰掛けという位置づけであり、将来家事をするために専門の学問を修めることの必要性が低いと捉えられていたからです。

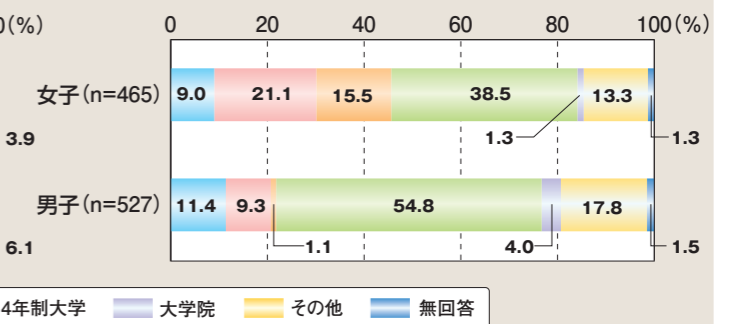
一方男子はどうでしょうか。

本人の学びへの志向とは異なり4年制大学進学に対する周囲からの精神的な圧力があるのかもしれませんが。

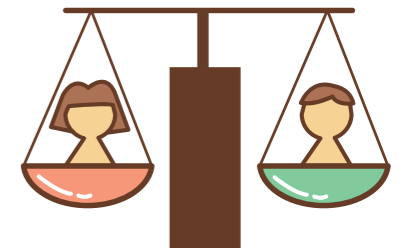
## ■進学の希望(中学生)



## ■進学の希望(高校生)



男女に能力の差はありません。男女がそれぞれの個性と能力を發揮しつつ、共同で社会をつくっていく上で必要な学力を身に付けようとする意志を阻害しないことは、大人の責任でもあります。



ポイント!

子どもが自分の進路・将来を考えると、女・男という性別にとらわれず、個性と能力に応じた道を選択してほしいものです。

子どもたちは、親など大人の姿を手本として育ちます。子どもたちが男女共同参画に関する正しい知識が持てるよう、大人自身が自らの考え方や行動について、女・男という従来からの固定的な役割分業を見直していく必要があります。そして、子どもたちが家庭や学校での生活や将来に向け、あらゆる選択をするときには性別にとらわれず、個性と能力に応じた進路を選択してほしいものです。

## 男女共同参画プランにおける現在の取組



今後の取組の  
方向性

## 市民・行政みんなで取り組みましょう

1 性別による固定的な役割分業を見直し、男女共同参画の理解を進めましょう

2 たしなみ・社会的ルールは、性別に関係なく身につけましょう

3 家事の女性への偏りを家庭で見直し、協力できるようにしましょう

4 生物的性差と社会的性差、適性など、女・男の違いについての理解を進めましょう

5 多様な生き方、ライフコースの選択があることを知り、子どもが自立的に進路選択をできるようしましょう

6 性別によって不利と感じさせる通念や慣習などを見直し、改善しましょう

# キラリ☆輝く子どもたちの将来のために!

※各グラフの合計値は四捨五入により100%にならない場合があります。

子どもの男女共同参画に関する意識調査報告書【概要版】

平成20年3月発行

とよた男女共同参画センター  
キラリ☆とよた

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25 豊田産業文化センター2階(月曜休館)

TEL.0565-31-7780 FAX.0565-31-3270

Eメール clover@city.toyota.aichi.jp URL <http://www.hm4.aitai.ne.jp/~clover/>